

サイバーセキュリティクラウド、AWS 環境における包括的なセキュリティ管理・運用を実現する新サービス『CloudFastener』をリリース

グローバルセキュリティメーカーの株式会社サイバーセキュリティクラウド（本社：東京都品川区、代表取締役社長兼 CEO：小池 敏弘、以下「当社」）は、新サービスである AWS 環境フルマネージドセキュリティサービス『CloudFastener』の提供を開始したことをお知らせします。



CloudFastener

AWS環境 フルマネージドセキュリティサービス

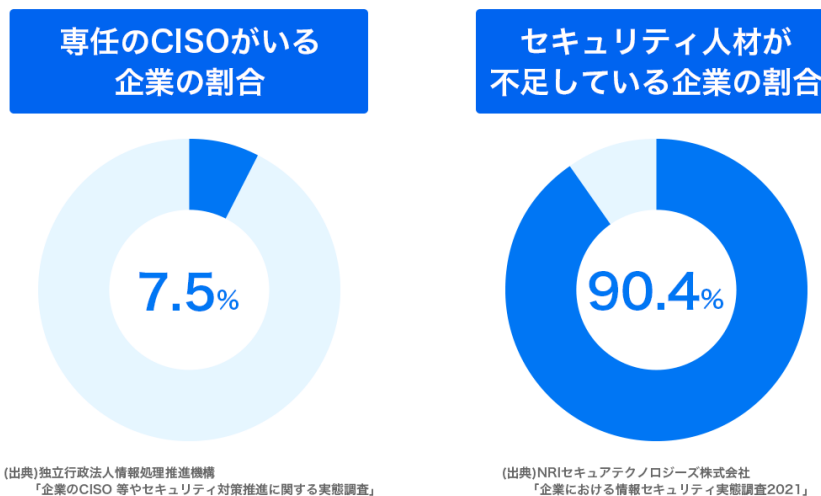
■日本におけるセキュリティ人材不足の現状

昨今、サイバー攻撃が急増し脅威が高まる中、企業に求められるサイバーセキュリティ対策は年々高度化・複雑化しています。

経営リスクや事業リスクを低減するためにはサイバーセキュリティ対策は不可欠であり、経営陣から実務者に至るまでそれぞれの部門で期待されるタスクを担える人材を揃えることが重要ですが、残念ながら日本企業の大半が、圧倒的な人材不足という課題に直面しています。専任の CISO（Chief Information Security

Officer) がいる企業の割合はわずか 7.5% (※1)、セキュリティ人材が不足している企業の割合は 90.4% (※2) というのが日本企業の実情です。

セキュリティ人材不足により自社で対応できるキャパシティを超えてしまい、「日々大量に発生するアラートに対応できない」「脆弱性対策も後回しになっている」といったことが常態化している一方で、セキュリティ対策は経営課題として捉えられており、情報システム部門や開発部門に責務が重くのし掛かっています。



■クラウドアプリケーションのセキュリティ対策にはプロダクト開発の視点が不可欠

企業の経済活動の中心が Web 上へと移行している中で、近年はプロダクト (ソフトウェア) 開発において、DevSecOps と呼ばれる「開発 (Development)」「セキュリティ (Security)」「運用 (Operations)」を迅速かつ継続的におこなう手法が注目され広まっています。DevSecOps は、DevOps フレームワークから派生したもので、多くの組織において、従来は後付けで扱われてきたセキュリティという重要な問題を開発や運用の段階から考慮することを目指すものです。

しかし一方で、セキュリティの専門家はプロダクト開発の専門家ではないため、有機的な連携は困難であり、従来型の「セキュリティ運用」だけを切り出したマネージドセキュリティサービス (MSS) の活用では不十分になりつつあります。

これからのクラウドアプリケーションのセキュリティ運用は、いかにそのサービスの提供価値を落とさずにセキュアな状態を保っていくかという視点が不可欠であり、まさにサービス開発の責任を持つ PM (Product Manager) の気持ちがわかる MSS が求められています。

■実効性を追求した AWS 環境フルマネージドセキュリティサービス『CloudFastener』とは

AWS 環境フルマネージドセキュリティサービス『CloudFastener』は、AWS の各種セキュリティサービスを包括的に管理し運用するフルマネージドセキュリティサービスです。

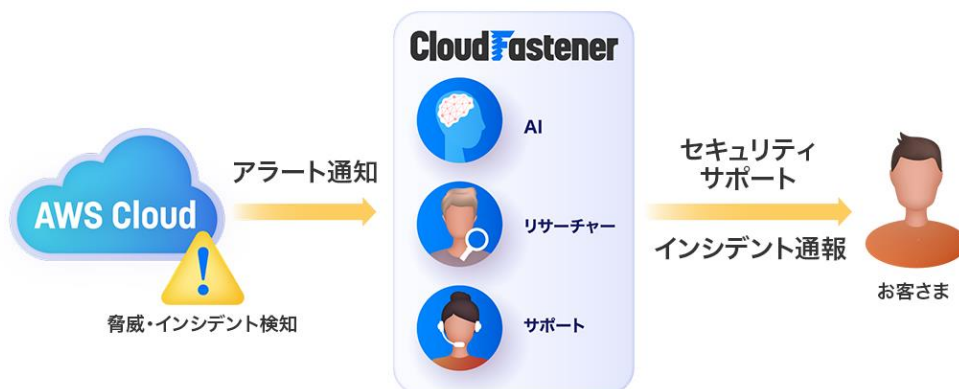
AWS のクラウド資産の洗い出し、セキュリティリスクの可視化、OS・ソフトウェアの脆弱性や設定ミス、クラウド環境の脅威を収集・分析。24 時間 365日AWS 環境を常時保護・モニタリングし、対処すべきリスクをトリアージし、セキュリティアラートの処置、対処サポートを行います。

実際にクラウドネイティブサービスを構築してきた CTO・PM 経験者が CloudFastener を開発しており、お客さまと同じ目線で運用監視をおこない、トリアージを実行します。そのため、セキュリティ人材の確保・運用体制に課題を抱える企業でも、AWS クラウド環境で安心して開発業務に集中できるようになります。

また、できるだけ AWS ネイティブ機能を活用することで、外部 SIEM（Security Information and Event Management）などのツールを利用するよりも優れたコストパフォーマンスを実現します。

さらに、『CloudFastener』は、組織が AWS のセキュリティ対策をどの程度実現できているかを定量的に測るためのフレームワークである“AWS セキュリティ成熟度モデル(AWS Security Maturity Model)”への対応を容易にし、組織がセキュリティのベストプラクティスを迅速に適用することをサポートします。

AWS環境フルマネージドセキュリティサービス『CloudFastener』



■『CloudFastener』の主な特徴

- ・セキュリティリスクの脅威から、AWS 環境全体を守ります

AWS のセキュリティサービス（Security Hub, GuardDuty, AWS Config, Amazon Inspector, CloudTrail など）を CloudFastener に統合し、セキュリティデータ・ログを 24 時間 365 日継続的にモニタリング。対処すべき不正な設定やイベント、脅威情報を検知・分析し、専任チームによる是正支援を行います。

- ・最新ルールアップデートにも対応、開発とセキュリティ運用の両立を実現します

CloudFastener は最新の AWS セキュリティルールに基づきお客様の AWS 環境をモニタリングします。

AWS セキュリティルールを自動的に反映し、AWS 環境の安全性向上を実現します。運用負担が大きい、専門知識が必要な AWS のセキュリティ運用は CloudFastener にすべてお任せください。

- ・AWS 環境にあわせた導入が可能です

CloudFastener はアカウントの規模や数に関わらず導入が可能です。自社の組織体制やアカウント状況に応じてサービスを選択し、優先順位を付け段階的に導入することができます。いま必要なセキュリティ対策は何か？今後どのような対策が必要か？などお客様の抱えている課題や環境・状況にあわせて柔軟にサービスを提供します。

CloudFastener サービスサイト : <https://cloud-fastener.com/>

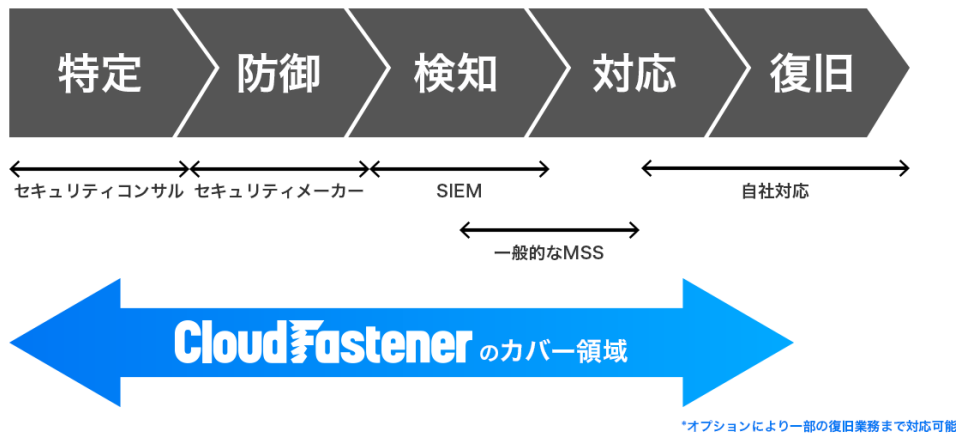
■『CloudFastener』と他社 SIEM や MSS との違い

グローバルで利用されている SIEM には、多様な機能が搭載されています。一般的に、その豊富な機能を使いこなすためにはセキュリティの知識がある人材が必要となりますが、ほとんどの日本企業にはセキュリティ人材が不足しているため、SIEM の運用とセットで MSS を利用するケースが多くみられます。

『CloudFastener』は、お客様のプロダクトチームが真に効果が出せる機能を絞り込んで提供することで、長く使い続けられる利用料金とパフォーマンスを両立させることができました。『CloudFastener』は単なるソフトウェアではありません。いわば SIEM と MSS の特徴を、実用性のあるレベルで良いと取り出した「ちょうどよいオールインワンなサービス」です。

『CloudFastener』は、AWS 環境のセキュリティの緩みをしっかりと締めて強固にし、ビジネスに集中するための安心な環境を提供します。

『CloudFastener』と他社SIEMやMSSとの違い



『CloudFastener』は、本年中にグローバル販売を開始する予定となっており、2024年の夏ごろにはAWS環境に加えてマルチクラウド対応を予定しています。今後も、「世界中の人々が安心安全に使えるサイバー空間を創造する」という企業理念のもと、誰にとっても使いやすいサービス開発・拡充を行い、企業が抱えるセキュリティリスクの軽減に向けてさらに尽力して参ります。

■今後の見通し

当社の損益状況及び財政状態に及ぼす影響は軽微と見込んでおりますが、長期的に当社の業績向上に寄与するものと考えております。また、今後当社の業績等に重要な影響を与える事象が発生した場合は、適宜開示いたします。

※1 出展：独立行政法人情報処理推進機構「企業のCISO等やセキュリティ対策推進に関する実態調査」

※2 出典：NRIセキュアテクノロジーズ株式会社「企業における情報セキュリティ実態調査2021」

■株式会社サイバーセキュリティクラウドについて

住所：東京都品川区上大崎3-1-1 JR東急目黒ビル13階

代表者：代表取締役社長 兼 CEO 小池敏弘

設立：2010年8月



URL : <https://www.cscloud.co.jp/>

サイバーセキュリティクラウドは「世界中の人々が安心安全に使えるサイバー空間を創造する」という経営理念を掲げ、世界有数のサイバー脅威インテリジェンスと AI 技術を活用した、Web アプリケーションのセキュリティサービス、及び脆弱性情報収集・管理ツールといったハッカー対策サービスを提供しています。これからも私たちは WAF を中心としたサイバーセキュリティにおけるグローバルリーディングカンパニーの 1 つとして、情報革命の推進に貢献してまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社サイバーセキュリティクラウド マーケティング部 担当：井田・菊地

TEL : 03-6416-1579 FAX : 03-6416-9997 E-Mail : mkt@cscloud.co.jp